

SDGsから見える社会の問題点

宮城県仙台第三高等学校 普通科51班

1. 背景と目的

現在、世界には多くの問題があり、人々はその解決に向けて考え動いており、代表的なものとしてSDGsがある。

しかし、そういった取り組みが必ずしも人々に求められ、望んだ結果をもたらすとは限らず、それどころか進め方を誤れば理想から遠ざかるという懸念もあると考えた。

よって、SDGsをもとに**現在の社会の問題点を考察すると同時に、多角的、批判的なものの見方を再認識すること**を自他ともに促したい。

2. 先行研究（アンケートによるSDGsの意識調査）47件の回答

アンケート1(あなたはどの分野の話題に興味がありますか?)

複数回答

1: 社会問題 (58件)、2: スポーツやエンタメ (40件)、
3: 事故・事件 (32件)、4: 環境問題 (30件)
5: IT系 (2件)、6: 科学や数学 (2件)

アンケート2(あなたはSDGsにどれだけ関心を持っていますか?)

1: かなりある (23. 4%)、2: ある (17%)、3: そこそこある (48. 9%)
4: まったくない (10. 6%)

アンケート3(あなたはSDGsをどのようなものだと思っていますか?)

1: 達成すべきだと思っている (48. 9%)
2: 達成すべきだが難しいと思っている (42. 6%)
3: 欠点があるので達成しない (8. 5%)

アンケート4(あなたはSDGsの利点や欠点について調べたことはありますか?)

1: ある (40. 4%)
2: ない (59. 6%)

結果 : 多くの人がSDGsに興味を持っているが、その解決策を考えている人は少ない

5. 見えてきた問題点と解決策

問題点 : ・解決のために動く人は少ない。
・解決のために行われている活動を批判的に見れる人が少ない。
・個人として独自の意見を持たず、周りに流されやすい。

解決策 : より深く考える場を学校等でも設けるほか、
本当に効果的な活動ができているかを確認する機会を設ける。(後述した通り、現在LGBT政策のように効果的な活動が出来ていない可能性を考慮。)



ジェンダーレストイレ
(イギリス)



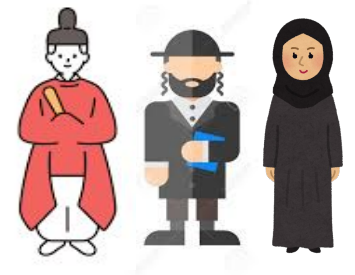
具体的な問題①

ジェンダーレストイレ
(歌舞伎町)



伝統、文化を守るためには必ずしも男女の区別をなくさなくてはいけないわけではない。

男女の区別をつけることもときには必要。



4. 京都府庁人権啓発推進室で得た知識

(米山美沙紀様、元岡賢蔵様)

現状・・・SDGsの流れに乗っかり、ジェンダーレス問題解決のために様々な活動がなされているが、その活動が本当に物事を正しい方向へ進めることができるのか、計画する側の人もわかっていない。

＝今行われているものが当事者にとって本当に必要だとは限らない。

理由・・・実際にトランスジェンダーで困っている人の声が少なく**何が多く求められていて、何があまり必要ないのかわかっていないため。**

ジェンダーレストイレを廃止するようになった理由として犯罪が怖いといったものがあるが、実際日本ではジェンダーレスのものを置いたからといい性犯罪が増えたというデータは存在しない。そのため、日本の人たちのジェンダーに対する知識をさらにつけ、理解していく必要がある。

5. まとめ

私達現代人の多くは社会問題について知っていても、解決のために動こうとする人は少なく、実際に動いている人達でさえも、何をすればいいのかわからない事が多いとわかった。そして、私達の班ではこの現状を変えるために、様々な人達に伝え、少しでもSDGsの問題に対しての考え方の視点が広がることを意識して活動を行った。

参考文献 TBSニュース 日テレNEWS

[歌舞伎町タワーのジェンダーレストイレ廃止 不安や不満の声受け 産経新聞: 産経ニュースhttps://www.sankei.com > article](https://www.sankei.com/article/2022-04-14/)

[【イギリス】政府、新築物件でジェンダーレストイレ設置を ...](https://www.sankei.com/article/2022-04-14/)